

えほんのおへや通信



2012年2月1日(水)発行 サンガこども園 <http://sanga.iinaa.net/index.html>

「光陰矢のごとし」と言われます。大震災から11カ月になろうとしています。多くの方が避難生活を強いられています。心身共に暖かい日々が早く来られることを願っています。

サンガこども園で定期購読しています福音館書店の月刊幼児絵本「こどものとも」2月号の紹介。

こどものとも 0.1.2

10ヶ月～2歳向き

「ぐうぐうごりら」

神沢利子文 / あべ弘士絵

ごりらのとうさんは「どっしどっし」あるき、ごりらのこどもは「よっちよっち」あるきます。ごりらのとうさんは胸を「ぼんご ぼんご」たたき、ごりらのこどもは「ぺとぺと」たたきます。



こどものとも 年少版

2～4歳向き

「とん ころころころ」

荒川薫 文 / 村田朋泰造形・写真

窓際に、まりが一つ。風が吹いて床に「とん」と落ちると、「ころころころ」と転がりだした。やがて意思をもったかのように、「ととーん」と外の世界へ飛び出してゆく……。



こどものとも 年中向き

4～5歳向き

「3びきねこさんの そりあそび」

柳生まち子作

「古いそりさしあげます」のはり紙を見て、「もらいにいこう！」と出かけた、ねこのごろ、とら、きい。ところが、そりはいたちくんにもらわれていったあとでした。そりで遊ぶいたちくん、3びきは「ぼくらも乗せてよー」と頼みます。



こどものとも

5～6歳向き

「マザネンダバ」

～南アフリカ・お話のはじまりのお話～

ティナ・ムショーペ文 / 三浦恭子訳

/ マプラ刺繍プロジェクト刺繍

まだこの世にお話がなかったころ、マザネンダバはお話を探しに森へ出かけました。けれども、だれもお話がどこにあるか知りません。やっとう海の底の王様が知っているかもしれないと教えてもらったマザネンダバは、……。



ちいさなかがくのとも

3～4～5歳向き

「モワモワ でたよ」

大橋政人文 / 片山健絵

今日は寒いね。手にハアハア息をふきかけて、あたためよう。あ、ぼくの口から白いモワモワが出てる！ 家に帰ったら出なくなっちゃった。でも、ごはんやおみそしるは、家の中でもモワモワ出してるね。どうしてかな？



今月は他にこんな絵本も購入しました。

「おにのおにぎりや」

作・絵：ちばみなこ

3歳から

オニの子たちが始めたおにぎりやさんが大人気に！

おにぎりって「おに」がつくるからおいしいんだよ！と、オニの子たちが始めたおにぎりやさん。大人気でちょうど売り切れたときにやってきたのは……。



【雑感】

スマートフォンが急速に普及しています。いよいよ本格的に電子書籍の時代になるのかなと思います。そんな新しい時代の変化をひたひたと感じながら、紙の絵本の読み聞かせてはどうなっていくんだろうと思います。

絵本は、一人で読む普通の本と違って、本をはさんで親と子、大人と子どもの間をつなぐもの。どうなるのでしょうか。



【節分の鬼】

節分の鬼には色々と説があるようですが、「鬼門」と関係があるようです。「鬼門」とは鬼の出入りする方角であり、その邪気をはらうという意味が込められていると思われます。鬼＝邪気。鬼を退治して無病息災を願ったのでしょう。



(年齢は目安です。)